

いぬのきもち

DOG'S HEART

ヒカと愛犬との生活報告



3

2011 MAR.
vol.156

人にある
病気・症状、
犬にもあるの？

安心・愛情が
伝わる抱っこ



体重別
おやつ
目安量

おやつ
おやつ
おやつ

吠えグセ・甘噛みはいつおさまるの？

年代別



犬の困りごと大調査!

下重彰子先生



麻布大学獣医学科卒業。大学卒業後、外資系ペットフード会社にてペットの臨床栄養学の研究開発に携わる。その後勤務医および大学病院にて皮膚科医を務める。ニューヨークアニマルメディカルセンターでの研修を経て現在に至る

獣医さんの診察室から vol.82

日夜動物たちが訪れる診察室から、飼い主さんへのメッセージをお届けします。

犬は花粉を皮膚で吸収するから皮膚に異常が出る！

下重先生は、大学病院で皮膚科医として勤務した経験をもつ、皮膚病に詳しい先生。花粉が飛び始める春先から秋にかけて、花粉によってアトピー性皮膚炎を発症する犬もいるので要注意。

「犬は、花粉などのアレルギー物質を皮膚で吸収するため、皮膚に赤みやかゆみが出ます。アトピー性皮膚炎は花粉やダニ、ハウスダスト

花粉が原因のアトピー性皮膚炎も。花粉が飛ぶこの時期、皮膚に異常があればすぐに受診を

（室内のほこり・ちり）などの環境中アレルギーをはじめ、細菌、マラセチア、ノミ、食べ物などがアレルギーに。アトピー性皮膚炎は、犬の皮膚病のなかでダントツに多い病気なんですよ」

では、その理由はなんなのでしょうか。

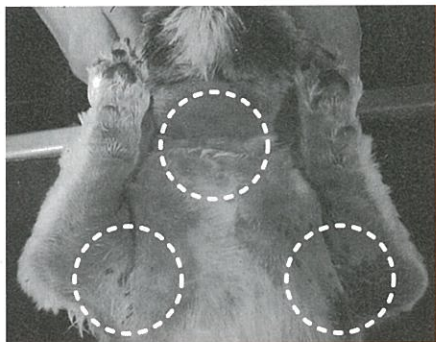
「アトピー性皮膚炎の原因はいくつもあります。『遺伝的な要因』や、『犬の皮膚が人と比べて外からの刺激に弱い』という理由のほか、『室内で生活する犬が増えて、ダニやハウスダストなどのアレルギーに接触する機会が多くなった』のも大きな要因です」

アトピー性皮膚炎は、3〜4才までに発症する病気で、とくにシー・ズーやウエスト・ハイランド・ホワイト・テリア、フレンチ・ブルドッグ、柴、ゴールデン・レトリバー、コッカー・スパニエルなどが遺伝的に発症しやすい犬種です。

アトピー性皮膚炎を防ぐには愛犬自身と飼育環境を清潔に

アトピー性皮膚炎を予防する方法はあるのでしょうか。

「アレルギーのダニやハウスダスト、花粉をゼロにはできませんが、『適切なシャンプーで皮膚を清潔に保つ』『愛犬の敷物や身につけるもの、室内のカーペットを清潔にする』『薬でノミやマダニを駆除する』などが有効です。花粉の時期には、外から帰ってきたら家に入る前に飼い主さんは服についた花粉を落とし、愛犬はブラシで毛についた花粉を落とすといいですよ」



アトピー性皮膚炎のシー・ズー（メス・7才）。のど、四肢の内側、おなかの皮膚が赤くなり、強いかゆみが伴います

掃除やシャンプーなどで予防策をとるほか、アトピー性皮膚炎の治療では早期発見も大切。

「アトピー性皮膚炎はなかなか完治できない病気ですが、症状が悪化する前に治療すれば上手につきあってくことも可能です。毎日愛犬とふれあうとき、皮膚の状態もチェックし、発疹や脱毛などの異変に気づいたら、なるべく早く動物病院を受診するようにしましょう。また、健康診断を受けると、皮膚の状態もチェックしてもらえますので安心です」



病院併設のトリミング室。トリマーさんが発疹や腫瘍、傷などを発見することも多いため、トリマーさんと獣医さんが連携し、病気の早期発見に力を入れています

下重先生からのアドバイス 食べ物がアトピー性皮膚炎の原因になることも

アトピー性皮膚炎の原因が「食べ物」のこともあります。ただ、原因となった食べ物を特定していくことは難しいため、アレルギー反応を起こしやすいといわれる食べ物を口にさせないことのほうが重要です。一般的に犬は、牛肉や豚肉、乳製品、小麦などにアレルギーを起こしやすいといわれます。ですから、アトピー性皮膚炎の犬には、白身魚やサケ、カモ、ナマズなどアレルギーを比較的起こしにくい食材でできたフードを選んだほうが無難ですよ。